

【 会 議 録 】

作成日	令和5年11月20日	作成者	環境推進課、株式会社創建
会議名	令和5年度 第1回刈谷市環境審議会		
日 時	令和5年10月23日(月) 14時~15時00分	出席者	別添のとおり ・委員 12名 ・事務局 7名
場 所	市役所7階 大会議室A		
資 料	別添のとおり		
議事内容	下記のとおり		

【開会】

◆議題まで環境推進課長により進行

【あいさつ】(会長)

【議題】

◆会長により進行

(1) 第2次刈谷市環境基本計画年次報告書「刈谷市の環境」について

資料1に基づき事務局から説明

◆意見・質疑

委員 : p.94の温室効果ガスの削減目標について、2030年度の排出量を2013年度比で40%削減すると書かれているが、どういった基準や考え方の下で40%削減という目標にしたのか。

⇒事務局 : 国の地球温暖化対策計画では、国全体の2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で46%削減することが示されている。

国全体で46%削減するため、「産業」や「家庭」などの部門ごとにも削減目標が掲げられており、刈谷市の事務事業が含まれる「業務その他部門」では40%削減と設定されていることから、令和3年度に本市の地球温暖化対策実行計画(事務事業編)「エコアクション刈谷」を見直し、目標値を40%削減とした。

委員 : この目標を達成するために、今から何をしていくかということを決めていくのか。

⇒事務局 : 「エコアクション刈谷」では、環境に配慮した材・サービスを使用していくことやエレベーターの使用を減らすといった、刈谷市役所の職員全体で取り組むことのできる取組を推進することとしている。

会長 : エレベーターの使用を減らすことで二酸化炭素を何%削減できるのか。

⇒事務局 : 何トンの二酸化炭素を減らすことができるのかをこの場で回答すること

【 会 議 録 】

ができないが、4階以上の上り以外ではエレベーターを使わず、階段を使うことで電気の使用量を減らし、それ以外の取組も含めて40%削減の目標達成を目指すこととしている。

会長 : 職員がエレベーターの使用を控えるという取組は画期的だと思うので、どれくらいの効果があるのかを知りたかった。

⇒事務局 : 基本的に事務事業では電力の使用による二酸化炭素の排出が主であるが、エレベーターを使用しなかったらどれだけ削減できるかを把握することは難しい。

極力、電力の使用を控えることやLED電灯の導入により省エネ化を進めること、地域新電力会社を創設し、再生可能エネルギーを公共施設に供給する取組などで、二酸化炭素排出量の削減を図りたいと考えている。

委員 : p.44で公害の状況が示されているが、騒音が最も苦情件数が多く、その中でも住居系が多い。

市に苦情が来た時に、職員が現場に赴いて注意や指導を行っているのか。

⇒事務局 : 苦情が来た場合は、まず職員が現地に向かい状況を確認したうえで、法律に基づき対応している。

委員 : 住民同士のトラブルだとなかなか対応が難しいのではないかと。事件や犯罪等に繋がることもある。

⇒事務局 : 大体の苦情が匿名で届くので、相談者の名前を出さず、近隣の方からこうした苦情がありますといった伝え方をしている。

感覚公害になるため、どの程度のものかということも含めて、行政が間に入る形で対処している。近隣のトラブルから事件が発生することもあるので、行政が間に入ることで良い方向に向かうようにしている。

(2) 第3次刈谷市環境基本計画の策定について

・資料2、2-1、2-2に基づき事務局から説明

◆意見・質疑

委員 : 資料2で「定数的」という表現があるが、あまり聞かない。定量的か定性的かという書き方なら分かるが、数値を用いて進捗管理を行っていくという理解で良いか。

⇒事務局 : 現行計画と同様に、数値目標を指標として整理し、進捗管理を行い、市民にわかりやすく公表していく趣旨である。

委員 : 前回のアンケート調査の回収率はいくらだったか。

⇒事務局 : 前回の市民向けアンケート調査は38.4%で、事業者向けアンケート調査が37.7%であった。

今回のアンケート調査では、若い人にも回答しやすいように、文書による

【 会 議 録 】

回答だけでなく Web アンケート形式で回答ができるようにしている。

- 委員 : 回収率は 50% ぐらいを想定しているか。
- ⇒事務局 : 多ければ多いほどよく、回収率の向上を目指している。
- 委員 : 私個人にも色々な所からアンケートが来るが、このアンケートが本物なのか、QR コードが本物なのか、コンピューターウイルスに感染しないか、本当に市の行っている調査なのかといったことで不安に感じることもある。
- ⇒事務局 : そうした不安を感じる方もいると思うので、今回は Web 回答だけでなく、返信用の封筒を同封して送付し、紙面での回答も出来るようにする。また、市のホームページや SNS など、アンケートを実施するということを周知したい。
- 会長 : アンケートの設問に、「原生林」という言葉があるが、刈谷市には原生林がないので、いらないと思う。また、「森林」という言葉も里山という言葉にした方が良いと思う。
- ⇒事務局 : ありがとうございます。検討します。
- 会長 : アンケートは 11 月 1 日から開始するのか。今日以降、気づいたところなど、内容への意見はいつまでに伝えれば反映できるのか。
- ⇒事務局 : 今日のご指摘やご意見等を踏まえて、11 月の早々に発送したいと考えています。今週中にご意見をいただければ反映させていただきます。

(3) 刈谷市環境都市アクションプラン改定に係るパブリックコメントの実施について（報告）

・資料 3 に基づき事務局から説明

◆意見・質疑

なし

(4) その他

◆意見・質疑

- 委員 : (議題 2) アンケートの回収率を上げるために、回答者へ景品やポイント、市ゴミ袋などの贈呈を考えてはどうか。
- ⇒事務局 : この場で具体的な回答ができませんが、検討させていただきます。
- 会長 : エコポイント制度は終わったのですか。
- ⇒事務局 : 終了しました。

【閉会】

以上